

# RENO OIL

素材を見つけて楽しく塗ろう

みなさんの身の回りや地域には  
どんな素材がありますか？

塗料にして塗って見たら  
どんな色や風合いになりそうですか？

私たちと一緒に  
楽しく塗ってみませんか？

## —— 活用方法 ——

- 地域の土や石を混ぜ込み、地域との親和性を高める
- 解体で排出される廃棄物をリノベーションで活用し、過去と未来を繋ぐ
- ブランドで排出される廃棄物を使い、環境配慮のストーリーを生む



素材を見つける



素材を粉砕する



油と混ぜて塗る



愛着を生む

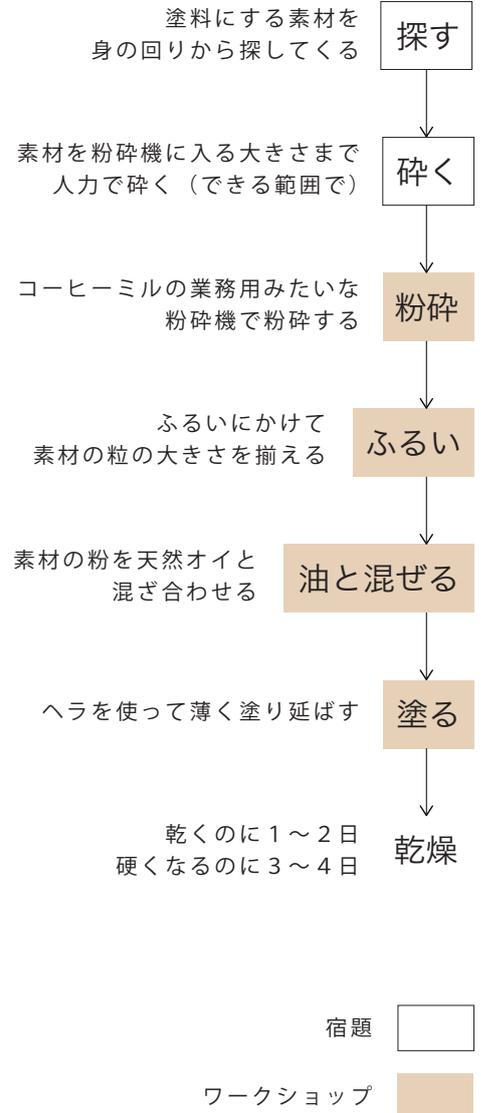
— タイムテーブル & 概要 —

— 素材ペイントの工程 —

事前挨拶・会場準備

13:00	活動紹介・素材ペイントの解説
13:10	サンプル披露
13:20	塗装実演（粉碎から塗装まで）
13:30	<p>ワークショップ I 「色んなものに塗ってみよう」</p> <p>10 cm 四方のコースター板に素材ペイントを塗ってみます その後、持ち寄ったものにも塗ってみます</p> <p>【宿題】 素材ペイントで塗ってみたいものを探してきます</p>
14:00	休憩・次の準備
14:10	<p>ワークショップ II 「探してきた素材を塗ってみよう」</p> <p>下の宿題にしたがって素材を持参してもらいます その素材を粉碎してから塗料にして塗ってみます うまくいくかどうかはやってみないと分かりませんが そのドキドキ感ごと楽しんで下さい</p> <p>【宿題】 塗料にして塗ってみたい素材を身の回りから探してきます 素材探しは下記を満たしてください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 粉碎機で粉碎できるもの（NG：硬い石・金属・ガラス）</li> <li>● 無機物、有機物を問わず、完全に乾燥させた状態</li> </ul> <p>素材例：土・砂・瓦 など</p>
14:40	
15:10	
15:40	ふりかえり会（感想交換）
16:00	片付け

【お土産】自分で塗ったものはそのまま持ち帰れます



※ 開催目的等により内容の一部に変更がある場合もあります

— ワークショップの様子 —



素材ペイントの解説・サンプル披露



素材ペイントを自分で塗ってみる



素材の循環をワークショップシートで表現

## — ワークショップで得られること —

<b>素材循環のリアリティ</b>	<p>自分の手で、その場で素材を循環させる体験ができます</p> <p>それにより、素材の循環のリアリティが湧いてきます</p> <p>その感覚が循環や再生にまつわる問題解決に役立ちます</p>
<b>次々に浮かぶアイデア</b>	<p>素材ペイントは原理がとてもシンプルです</p> <p>素材もみなさんの身の回りにある慣れ親しんだものです</p> <p>そのため、塗装のアイデアが誰でも次々浮かんできます</p>
<b>気づいたら自分事</b>	<p>アイデアが浮かぶと、それを試してみたくになります</p> <p>素材への愛着や地域の課題がそれを推し進めます</p> <p>気づいた時には自分事としてその実現のため動いています</p>
<b>手仕事の実験精神</b>	<p>実際に手を動かしてみるとイメージ通りにいかないこともあります</p> <p>しかし、その場でその溝を埋めていくのが手仕事の醍醐味です</p> <p>手仕事を通して、トライ&amp;エラーを楽しむ姿勢を育みます</p>
<b>対等なコミュニケーション</b>	<p>素材に、良いも悪いも、正しいも誤りもありません</p> <p>素材を前に、プロもアマも、上司も部下もありません</p> <p>素材を囲むと、各自の考えを対等に口にしやすくなります</p>
<b>素材からのぞくパーソナリティ</b>	<p>素材の捉え方や感じ方は人それぞれです</p> <p>素材には個人や地域のパーソナルな思いも込められています</p> <p>素材を前に、参加者のいつもは見せない一面が顔を出します</p>
<b>没頭作業でリフレッシュ</b>	<p>慣れないながらもきれいに塗ろうと無心に作業したり</p> <p>愛着ある素材や自然素材をじっくり手で触れたり</p> <p>日常とは少し違った体験がリフレッシュの時間になります</p>

## — RENO OIL のワークショップ —

世の中がどんなに便利になっても、自分の手で何かを作るのは楽しいものです。自分で作った物は、工場で製造された物よりずっと愛着が湧きます。いつまでも捨てられない思い出の品にもなります。それがひとつでもふたつでも身近にあると暮らしを豊かに感じられます。

RENO OIL は、「作る」中でも「塗る」楽しさを広めています。塗装は、手や服が汚れたり、臭いがしたり、乾くのに時間がかかったり、ちょっと面倒に思われるかもしれませんが。でも本当は、塗った物の印象を一瞬で変えてくれる楽しい作業です。

年々、地球環境問題に対する意識が高まっています。みなさんの身の回りにも、循環型素材が使われた製品が幾つかあると思います。しかし、ある素材が別の素材に生まれ変わる循環の現場を、自分の目で見たことはありますか？ それらのほとんどは、工場など私達の見えないところで作られています。でも、もしも、自分の手で作れるとしたら、自分の手で作ってみたいと思いませんか？

RENO OIL は身の回りの素材を探してきて粉碎し、天然由来の植物オイルと混ぜ合わせ、塗料として生まれ変わらせるワークショップを開催しています。サステナブルな選択も、大事なことだと分かっていたって楽しくなければ長続きしません。サステナブルの楽しさを身をもって体験できるのがこのワークショップです。

いつでも人の背中を押してくれるのは、楽しい、好きといったポジティブな気持ちです。何事においても、そういう気持ちが私達から積極性や主体性を引き出してくれます。このワークショップを体験すると、身の回りの素材を使って何かをやってみたくなる気持ちが芽生えてきます。

地域産業から出る廃棄物を使って、その地域の「ご当地ペイント」を作りたいという人も出てきました。輸入陶器が輸送中に割れてしまったため、それを壁に塗ることにしたお店もあります。みなさんも、身の回りの素材を塗料として生まれ変わらせてみませんか？ RENO OIL は、小さなことから大きなことまで、そういう方々のお手伝いもしていきます。